

☆YAMAGUCHI☆ あいサポート通信

あいサポーター研修やあいサポート関連イベントなど、あいサポート運動に関する情報をお届けします

あいサポーター研修の様子取材してきました！

先日、山口県立山口農業高等学校で実施されたあいサポーター研修取材してきました。山口県出身のパラリンピックメダリストの道下美里さんのお話から始まり、人は見たいものや聞きたいものに意識が偏り、他のことが見えなくなることがあるから、まずは「知る」「気づく」「考える」という3つのポイントを意識することが大切と伝えられました。

「知る」知りたいと思うこと、知ろうとすることが大事で、自分のことを知って、相手のことも知ろう
「気づく」見ようとする、聞こうとすることが大事で、見ようとすれば気づくこともできる
「考える」自分にできること、できそうなこと、相手がしてほしいこと、してほしくないことを考える

「いろいろなところに意識を向けることが重要です。知ろうとすること、見ようとする、聞こうとすることが、気づきにつながり、その気づきからできることを考え、行動することが手助けの第一歩になります。」と伝えられました。

また、高齢者とマタニティマークを持った女性が電車に乗車しているイラストを見て、どんなサポートが必要か考えるワークを行い、あわせて、ヘルプマークなど、サポートを必要としている人が使っている様々なマークを紹介され、実際に学校の事務室にその一つがあったことを生徒たちに共有されました。

さらに、「目（視線）だけ動かせるが、自分で動けない障害のある人はどんな仕事や活動をされている？」と問いかけられ、「障害のある人もそうでない人も一緒に、得意・苦手はあるけれど、できる仕事や活動は必ずある」と話されていました。例えば、自分では動けないが、自宅からPCを使用し、都心のカフェでロボットを使って接客対応をされている方の事例を挙げられ、できることを見つけ、前向きに過ごされている様子を伝えられました。

最後に、「もし困っている人がいたら、『何か困っていることがありますか？』と声をかけることが大切です。そんな一言が相手に安心感を与え、助けになることがあります。共生社会について、『私にできること』『私ができそうなこと』を見つけてみましょう」と言われたことが印象的でした。



あいサポート運動の取組が広がるよう、あいサポート企業・団体の活動状況やあいサポーター研修の取組事例などを紹介しています。皆様からの情報をお寄せください。

あいサポートメッセンジャー養成研修会とステップアップ研修会を実施しました！

令和7年10月27日（月）YIC 情報ビジネス専門学校にて、「あいサポートメッセンジャー養成研修会・ステップアップ研修会」を開催しました。

「メッセンジャー養成研修会」では、講師に一般社団法人山口県身体障害者団体連合会 事務局長 武居ひとみ氏を迎え、会場とオンラインのハイブリット形式で開催し、39名が修了しました。講師からは、普段研修の講師をする際に心がけていることや障害のある方との対応・接し方など、実際に今まで経験されてきたことをお話しいただきました。参加者からは「今後講師をするうえで、受講者の方々に何を重点に伝えるべきなのか明確になりました」や「講師の方の実話が分かりやすかった」との感想がありました。

「ステップアップ研修会」では、山口学芸大学教育学部教育学科教授の佐藤 真澄氏を講師に迎え、17名の方が受講しました。視覚障害を体験できるGoogleやアプリを使用して、視野狭窄や白濁、全盲などを体験したり、子どもたちに「視覚障害のある人の理解」の導入となる独自アイテム「はてなボックス（中身が見えない箱）」を体験したりするなどしました。また、あいサポーターキッズ研修の事例について紹介いただいた後、「受講者みんなで実際に教材を作ろう！」と「はてなボックス」に入れるものの中身当てクイズを、受講者で意見を出し合い作成しました。キッズ研修講師をするにあたって、大切にしたいことや研修の組み立て方・進め方、ポイント等をご紹介いただき、充実した研修会となりました。



＜メッセンジャー養成研修会の様子＞



＜ステップアップ研修会の様子＞

あいサポランド in 下関を開催しました！

令和7年11月8日（土）下関アクティブセンターにて「あいサポランド in 下関」を開催しました。専門学校 YIC リハビリテーション大学校が、若い世代へのあいサポート運動の普及啓発として企画し、当日は学生が運営を行いました。障害のある、ないに関わらず、すべての子どもが共に楽しめる企画として、ボッチャや卓球バレー、フライングディスクのパラスポーツ体験を行いました。また、ポップアップカード作りやペットボトルから空気砲を作る工作教室も行いました。パラスポーツ体験・工作教室のどちらも親子で楽しく取り組んでいる様子が印象的でした。

本イベントが、参加者や企画・運営に携わった学生にとっても、自然な形で障害について考えるきっかけになれば幸いです。

卓球バレー



ボッチャ



ペットボトルで空気砲をつくろう



ポップアップカードをつくろう



*****あいサポート運動の取組状況*****

	全国	山口県
あいサポーター数	727,092 人	41,775 人
あいサポート企業・団体数	3,274	329

※ R7.10 月末現在

編集・発行：学校法人 Y I C 学院（山口県「あいサポート運動」推進事業受託事業者）
TEL：083-976-8355 FAX：083-976-8357